



2025 年度

JFA コース報告書



JFA A 級ジェネラルコーチ養成講習会

報告者：岡野 義和 (吉城高等学校サッカー部 副顧問)

日程：前期 2025 年 5 月 12 日(月)～2025 年 5 月 16 日(金)

中期 2025 年 9 月 8 日(月)～2025 年 9 月 12 日(金)

後期 2025 年 12 月 8 日(月)～2025 年 12 月 12 日(金)

場所：静岡・時之栖 (裾野グラウンド・御殿場グラウンド)

チューター：城 和徳氏 石井 知幸氏 望月 聡氏

参加者：前期 23 名 中期 24 名 後期 24 名

補助選手：前期 びわこ成蹊スポーツ大学サッカー部

中期 静岡産業大学サッカー部

後期 中京大学サッカー部



【学習目的】

アマチュアトップレベルのチーム及び選手に質の高い指導ができる人材を養成すると同時に、地域・都道府県の指導者のリーダーとなる人材を養成する。

【学習内容】

講義	実技・指導実践	試験・課題
前期		
<ul style="list-style-type: none"> ・ プレーモデル・GP ・ ゲーム分析・プランニング ・ コーチング 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンディションチェック ・ 指導実践①(TR 1 /TR2) 	【事前課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のプレーモデル ・ 7トピックの指導案作成 ・ 自己分析シート ・ 指導実践(Logbook 作成)
中期		
<ul style="list-style-type: none"> ・ フィジカルコンディション ・ チームマネジメント ・ セットプレー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導実践②(TR 1 /TR2/GAME) ・ フィジカルコンディション実習 ・ プレゼン実習 	【間の学習】 <ul style="list-style-type: none"> ・ Logbook 作成 ・ プレゼン資料作成
後期		
<ul style="list-style-type: none"> ・ ナショナルコーチングスタッフ ・ チームビルディング ・ Emotions in Football 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導実践③(TR2/GAME) 	【間の学習】 <ul style="list-style-type: none"> ・ Logbook 作成 ・ 医学、栄養学、心理学 (オンライン講義)レポート作成 【試験】 口頭&筆記試験

【実技トピック】

- ①高い位置からの守備の改善 ②ビルドアップの改善 ③中盤でボールを奪う守備の改善
- ④中盤でボールを奪う守備に対する攻撃の改善 ⑤リトリートした守備の改善
- ⑥リトリートした守備に対する攻撃の改善 ⑦カウンターアタックの改善(自陣に引き込んでから)

【指導実践】

◎各トピックの指導実践の中で選手1人1人にタスクを与える。改善側のシステムは受講生の自由だが非改善側のシステムは1-4-4-2と固定である。

前期：TR1+TR2 25分 ディスカッション15分 監督・コーチ・GP コーチとして指導実践

中期：TR1+TR2+GAME 30分 ディスカッション15分 監督・コーチ・GP コーチとして指導実践

後期：TR2+GAME 20分 監督のみ

【学びと課題】

本講習会では、「オープンマインド」、「全員でつくり上げていく講習会」というキーワードのもと、ピッチ内外問わず、それぞれのサッカー観を議論し、プレーモデルの構築や意図的な戦術行動を落とし込む術を学んだ。7つのトピック理解から4局面やエリア別での戦術行動の落とし込み、非改善側の働きかけの重要性等も再認識できた。どのライセンスカテゴリーでも同じだが、「選手の納得感」を得られるようなタイムリーなコーチングやプレー時間の確保、GAME内でのプレーの再現性等も求められる。選手のレベルや年代によってはコーチングの伝える量も大切であると実感した。説明が長くなるとプレー時間や選手のモチベーションに関わってくることも学んだ。他の受講生のピッチ内外からの学びは大きく、「意図的な戦術行動の伝え方」や「コーチング」に関してそれぞれ個性があり勉強になった。監督、コーチ、GP コーチ役から、トレーニングの構築において3人のリレーションシップの重要性も学んだ。サッカーに最適解はあるかもしれないが明確な答えはなく、常に学ぶ姿勢を持ち続けたい。

3期にわたる講習会で学んだことを自チームへ持ち帰り、日常で指導していくことが結果的に自分自身の糧にもなるため、どの種別であっても自分が主で指導できる環境に身を置いていることがとても重要であると実感した。

最後に、県内トライアル、東海トライアルを見ていただいた岐阜FA指導者養成部の皆様、LogBook作成にあたり、間の学習にご協力頂きました県内外の大学、高校の各チームをはじめ、指導者の皆様、指導チームがなかった時期にトライアルに向けて、ご協力いただいた各チーム関係者の皆様、JFA主催スキルアップ研修会、並びに静岡県サッカー協会主催スキルアップ研修会の運営の皆様、講習会受講にあたり、快く送り出してくださった学校関係者の皆様にご場をお借りして、お礼申し上げます。ありがとうございました。



2025 年度 JFA コース報告書 JFA ユース B コーチ養成講習会



報告者：垣内 海斗
 日程：前期 2025年6月3日(火)～2025年6月7日(土)
 中期 2025年9月23日(火・祝)～2025年9月26日(金)
 後期 2025年12月9日(火)～2025年12月11日(木)

場所：大阪・J-GREEN 堺
 チューター：土橋 正樹 (JFA コーチ)
 白井 貞義 (JFA・U17 女子日本代表監督)

参加者：前期 23名 中期 23名 後期 23名
 補助選手：興国高校サッカー部 履正社高校サッカー部 JFA アカデミー堺



【学習目的】

U-11～U-15 年代の指導のリーダーとなる人材を養成と、所属地域での U-11～U-15 年代のゲーム・トレーニング環境を整備・充実させるための諸活動において、リーダー的立場に立って活動ができる人材を養成することを目的とする。
 (JFAHP より)

【学習目標】

前期	中期	後期
<ul style="list-style-type: none"> ・テクニックの獲得・質の追求 ・プランニング 反復回数/グルーピング ・コーチング テンポ(強度)/シンクロとフリーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・リレーションシップ ・グループへの働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則の理解 ・3ゾーンでの判断基準

【学習内容】

講義	実技・指導実践	試験・課題
前期		
フィジカル 栄養学・発育発達・心理学 JFA アカデミーの取り組み 代表監督講義 個別育成の重要性	指導実践①2人組(W-up/TR1) 指導実践②2人組(W-up/TR1) フィジカル コーチングデモ	【事前課題】 ・指導案作成×6トピック ・JFA アカデミーの取り組みについて ・フィロソフィーの作成 ・プレーモデルの作成
中期		
適正の診断と育成・Talent ID 分析(基本戦術)・GKについて チームマネジメント セーフガーディング	指導実践③4人組(W-up～GAME) 指導実践④3人組(TR1/TR2)	【間の学習】 ・Logbook(指導実践2トピック以上) ・プレーヤープロフィールの作成
後期		
医学 プレゼン実習	指導実践⑤4人組(W-up～GAME) 指導実践⑥個人(TR2/GAME) プレゼン実習	【間の学習】 ・Logbook(指導実践2トピック以上) ・プレゼン資料作成

【実技トピック】

前期	中期	後期
①パス&コントロール ②チャレンジ&カバー ③相手陣での守備	④ビルドアップ ⑤自陣での守備 ⑥前線の崩し	③相手陣での守備 ④ビルドアップ ⑤自陣での守備 ⑥前線の崩し

【学びと課題】

本講習会では、常に「個」の育成に重点が置かれ、サッカーの全体像を持ちながら、個人やグループに働きかけることの重要性を学びました。また、この年代で選手が獲得すべきテクニックや基本戦術の徹底、サッカーの原理原則に基づいた指導の大切さを改めて実感しました。選手が何を考えてプレーしているのか、どこにつまずいているのか、目の前の選手に対する分析やプランニング、コーチングにおいて、どのようにアプローチし改善していくべきかを深く考えさせられました。さらに、個別育成や育成年代における怪我についての講義を通して、サッカー指導に限らず、幅広く学び続けることの大切さを感じました。

前期から後期にかけての講習会では、1種から4種まで全国から集まった受講生の方々と学び合うことができました。グループで行う指導実践では、プランニングから指導実践後の振り返りまで様々な意見交換を行い、指導に対する向き合い方や高い熱量に触れることで、大きな刺激を受けました。

今回の講習会で得た学びを今後さらに深め、より良い指導者となれるよう学び続けることを大切にしながら、私に関わる選手への還元と、岐阜県サッカー協会の発展に少しでも寄与できればと考えています。本講習会へ派遣していただいた岐阜県スポーツ協会並びに岐阜県サッカー協会の皆さまに、心より感謝申し上げます。

作成者：垣内 海斗
 報告日：2025年1月25日

B ライセンスコーチ養成講習会 岐阜 FA コース 報告書

日 程 : 2025 年 6 月 1 日(日)~2026 年 2 月 15 日(日)

場 所 : 講義会場・長良川スポーツプラザ等 実技会場・メモリアルセンター補助競技場 等

参 加 者 : 13 人

チューター: 馬淵 圭太 ・ 松永 英機 ・ 寺田 亮太 ・ 井森 秀歩

【参加者の感想】

・一年間ありがとうございました。自分自身の足りないところを的確に教えていただいたり、指導実践の見本を見せていただいたりと、とても勉強になりました。また、今回の講習会で今まで自分自身気づかなかった課題等にも気づくことができました。本当にありがとうございました。

渡邊 響さん

・講習前の指導と比べ、格段に指導の見るポイントやフリーズをかけるポイントなどが分かってきました。複数のチューター方のサポートやたくさんの受講生がいる整った環境、高いレベルでできたことで1年前と比べ成長できたと思います。

武山 舞花さん

・様々なアドバイスをいただきましたが、常に自身の課題に気づかせていただき、考える糸口を与え続けていただきました。馬淵さんから教えていただいたことをさらに自分のものできるように今後も精進します。

加藤 智裕さん

【担当チューターより成果と課題】

2025 年度は 6 月から始まりました B ライセンス講習会。近々で C ライセンスを取得された方が多く学習のつながりが多く感じられた講習会となりました。前期・中期・後期の 3 期に分け開催され、各々の参加者の方達の成長が見受けられる 1 年であり、モジュール間に行われるクラブワークの取り組みが非常に重要であると感じられました。ライセンスを取得することが目的ではなく、参加者の皆様の目の前にいる選手たちがいかに成長していくのか、そのために指導者に何が出来るのか、といった「指導者としての根底」が非常に重要だと気づかされた 1 年でありました。参加された方々の今後の活躍に期待しております。

スクールマスター 馬淵 圭太

【講義・実技の様子】





G-ACTION 2030

2025 年度



GK-1 ライセンスコーチ養成講習会岐阜 FA コース報告書

日 程 : 2026年1月11日(日)~2026年1月18日(日)

場 所 : 講義会場・長良川スポーツプラザ等 実技会場・新日本ガス球技メドウ等

参 加 者 : 10人

チューター: 馬淵 圭太 ・ 名和 隆彰 ・ 中田 雄也

【参加者の感想】

・馬淵チューターの指導は、その多岐にわたる知識と深い経験に裏打ちされており、常に的確なアドバイスで、私の理解を大きく深めてくださいました。中でも、『言葉(伝え方)』がいかに指導において重要であるかを教えてくださったことは、私にとって衝撃的でした。これまで技術的なポイントを羅列するような伝え方になりがちだった自分にとって『目から鱗』の体験であり、私の指導者としての視野を広げていただきました。この学びを今後の実践に繋げていきたいと思っております。本当にありがとうございました。 大場 雄太さん

・JFAコースではなく、FAコースで取らせていただき、岐阜でGKの指導されている方と触れ合うことと、GKのプレーの再勉強として行かせていただきました。本当に思っていた通りになり、非常に有意義な時間でした。ありがとうございました。 松本 拓也さん

・何を伝えたいのか、自分の中でしっかり整理して伝えることと、プレイヤーのレベルに応じた配球やリアリティ、デモンストレーションの大切さを改めて感じました。 細江 拓也さん

【担当チューターより成果と課題】

1月の月初というスケジュールで毎年開催している本講習会。本年も多くの指導者に参加いただきました。GK選手を育てる、GKを理解するという目的そして、GKからGPという役割へ現代サッカーの傾向と照らし合わせて講義等を通じ参加された方でディスカッションを重ねて、理解を深めていく講習会となりました。GK未経験の方、上位ライセンスの方、元プロ選手の方など様々な参加者がおみえになり4日間の講習を協力・協働のなか取り組まれていました。参加者皆様の指導を受けた選手が大きな成長を見せてくれることを期待しております。 スクールマスター 馬淵 圭太

【講義・実技の様子】



報告日: 2026年1月22日 作成者: 馬淵 圭太

C ライセンスコーチ養成講習会 第1コース 報告書

日 程 : 2025 年 4 月 12 日(土)~2025 年 5 月 24 日(土)

場 所 : 講義会場・岐南町防災センター等 実技会場・SHOWA スポーツピアザ等

参 加 者 : 16 人

チューター : 馬淵 圭太 ・ 名和 隆彰

【受講生の感想】

・ありがとうございました！本当に良い経験ができました！指導に関しては自分が未熟だと感じると共に同じ悩みを持っている方と会えて自分が成長出来ましたし、良いご縁もありとても良い経験ができたと思います！きっかけは他薦でしたが指導に深く興味を持つきっかけになりました！

羽田野昌哉さん

・指導経験がないなか参加させていただき、みなさんに教えていただきながらなんとか乗り切ることができました。特に指導実践では皆さんのようにできないことに劣等感を感じましたが、このことをポジティブに捉え、チームの中であまり上手でない子や途中から入った子に寄り添うような指導ができればと思いました。

佐藤宗一郎さん

・1ヶ月半ありがとうございました。行くのが楽しみな講習会は初めてでした。これからも色々教えていただけると幸いです。ありがとうございました。

和田 昌樹さん

・今までの指導の確認、そして、今後の指導の引き出しを増やす事が出来ました。これからも、試行錯誤を繰り返していきたいと思います。貴重な時間を頂き、有り難うございました。

江崎 友治さん

【担当チューターより成果と課題】

2025 年度は 4 月から始まりました C ライセンス講習会。多くの方が自分たちで考えプランニングをして指導実践をおこないました。18 歳の参加者が 3 名参加され、若い指導者が出てきたと岐阜の未来の発展を感じられるような講習会となりました。参加者の皆様の次にステップへ進まれることを期待しております。

スクールマスター 馬淵 圭太

【講義・実技の様子】





G-ACTION 2030

2025 年度



C ライセンスコーチ養成講習会 第2コース 報告書

日 程 : 2025年9月6日(土)~2025年10月18日(土)

場 所 : 講義会場・岐阜市スポーツ交流センター等 実技会場・SHOWA スポーツピアザ等

参 加 者 : 23人

チューター : 高田 樹宜・寺田 亮太・蒲 成人・井森 秀歩・高田 優・名和 隆彰・馬淵 圭太

【受講生の感想】

・参加者の常に前向きな姿勢、楽しい雰囲気の中で学ぶことができました。この講習で学んだことを無駄にせず、子どもたちの未来のため、より良い指導者を目指して努力していきたいです。今回のライセンス講習会が新たなスタートと捉え、今後も学び続けていきたいです。
役田アレックスさん (西郷 FC)

・今回の講習会でサッカー指導者の入口に触れたと思います。様々な人の指導に触れることができたのが良い経験となりました。学んだ基礎を元にもっと探求していこうと思います。ありがとうございました。
太田蒼士さん (WING FC 多治見)

・Cライセンス講習を受けてみて凄く良かったです。サッカーの基礎を体系的に学ぶことができました。自分自身が経験してきたことを感覚的に理解しているだけで言語化できるだけの知識がありませんでした。今回の講習で学ぶことができたので、日頃の子どもへの指導を自信をもってできるようになりました。
藤田直也 (加納西スポーツ少年団)

・Cライセンス講習を受講して本当に良かったです。今まで何を教えていたのかと思えるほど多くのことを学ぶことができました。これから自分のチームに戻ってからコーチ間で情報を共有して正しい指導を子どもたちに、共に成長していきたいと思います。
大平裕 (サウス安井サッカー少年団)

【担当チューターより成果と課題】

23名のCライセンス養成講習会に参加ありがとうございました。「オープンマインド」をキーワードに全ての参加者が相互に学びに向かう姿がありました。サッカーの指導者の基礎を学ぶ。サッカーの知識だけではなく指導者としての人格、マネジメント力等突き詰めればやるべきことはたくさんあると思います。「選手の未来に触れている」この言葉を胸に、選手が目を輝かせてサッカーをする環境を皆さんで創っていきましょう。
スクールマスター 高田 樹宜

【講義・実技の様子】



報告日 : 2025年10月20日 作成者 : 高田 樹宜

D ライセンスコーチ養成講習会 岐阜コース 報告書

日 程 : 2025 年 7 月 21 日(月)

場 所 : 講義会場・長良川スポーツプラザ大会議室 実技会場・新日本ガス球技メドウ

参 加 者 : 39 人

チューター: 牧野 健 ・ 西尾 真央 ・ 馬淵 圭太 ・ 井森 秀歩

【参加者の感想】

・未経験者なので不安でしたがとても楽しく受講させていただきました。子供も頑張ってますので私もアップデートを続けようと思います。改めて具体的に言葉にすることの大切さが理解できました。

伊藤 智広さん(太田サッカー少年団)

・子どもたちが安全に楽しくサッカーの時間をつくるか、非常に勉強になりました。何よりも自分ももっとサッカーと関わる時間を楽しみたいと思いました。

堀 信彦さん(加納西スポーツ少年団サッカー部)

・ありがとうございます。弟の影響で小学生のサッカーに関わるが増え、ライセンスをとってみたいと思い参加しました。とてもためになる話をさせていただいてこれからの活動に活かしていきたいです。

大澤 志哉さん(郡上高校)

・本日はお疲れ様でした。指導者として大変勉強になる講習会でした。実技で馬淵さんのおっしゃっていた、「インサイドパスでボールに回転がかかったり浮いたりした時に「違う」と言うのではなく、「それはカーブの蹴り方だよ」等ポジティブな伝え方にするのはとても勉強になりました。是非今後の指導に活かさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。

山崎 貴生さん(FC 南輪 UNITED)

・これまでの自分の子供を含めた子供達との接し方を考えさせられました。子供達が理解しやすいように楽しくサッカーがプレー出来るように指導を見直していきたいと思います。

田宮 智樹さん(各務原中央 SSS)

【担当チューターより成果と課題】

多くの方にご参加いただき感謝いたします。参加者の皆さんは講習会のキーワードであるオープンマインドな姿勢で講義・実技に臨んでくださっていました。年齢別のグルーピングにより活発なディスカッションや意見交流が見られ、いい雰囲気講習会だったと思います。参加者の感想をみると、Dライセンスの目的である「サッカーの楽しさ」や「安心安全」という言葉が多く見られ、私たちの意図が伝わっているように感じました。

皆さんが今回感じられたことを、チーム関係者・選手の保護者・学校や自治会の関係者等多くの方に情報共有いただくと幸いです。安心安全なサッカー環境が広がることを願っています。

牧野 健

【講義・実技の様子】



D ライセンスコーチ養成講習会 岐阜②コース 報告書

日 程：2026年1月10日（土）

場 所：講義会場・長良川スポーツプラザ大会議室 実技会場・新日本ガス球技メドウ

参 加 者：56人

チューター：井森 秀歩・西尾 真央・蒲 成人・高田 樹宜・寺田 亮太

【参加者の感想】

- ・未経験者での参加でしたが、指導者として必要な事に触れ、これから子供たちと共に学び続けようと思える、良い講習でした。
山本 将平さん(新宮 SS)
- ・プレーヤーズファースト、常に選手の日線を意識して、指導者・選手双方向の良いチームづくりを心がけていくことを学びました。ご指導いただいたチューターの皆様ありがとうございました。
山口 徹也さん(各務原中央サッカースポーツ少年団)
- ・チューターの方がとても楽しく講習を考えてくださりオープンマインドの精神で講習に臨むことができました。1日だけでなく、次はもう少し深く学んでみたい、Cライセンスを取ってみたいという気持ちにもなりました。本日はありがとうございました。
福井 康平さん(FC各務原 South)
- ・セーフゲーディングについてよく理解できたので、指導の現場で生かしていきたいです。常に自分と選手と向き合い、考え、気づけるようにしたいと思います。
横山 雅哲さん(FC岐阜)
- ・数年前にDライセンスを取得しましたが、更新できず失効して、今回再受講しました。前は座学大半でしたが、今回はグループディスカッション形式で有意義な講習だったと感じます。子どもとの接し方も双方向で関わりを深めていきたいと思っています。ありがとうございました。
有我 朋大さん(加納西スポーツ少年団サッカー部)

【担当チューターより成果と課題】

56名と多くの方にご参加いただき、心より感謝申し上げます。

Dライセンスコーチ養成講習会では、「サッカーの楽しさ」「安全・安心な環境づくり」「セーフゲーディング」を主なテーマとして、講義および実技を実施しました。講義では一方的に話を聞く形式にとどまらず、参加者同士によるディスカッションを行い、立場や環境の異なる意見を共有しながら理解を深める、非常に有意義な時間となりました。

特に「セーフゲーディング」の考え方については、多くの参加者から「大変勉強になった」との声が寄せられました。今後、講習会に参加された方々を通じて、子どもたちのサッカー環境がより一層「楽しく・安全で安心」なものへと広がっていくことを期待します。

井森 秀歩

【講義・実技の様子】



D ライセンスコーチ養成講習会 女性コース 報告書

日 程 : 2025 年 7 月 21 日(月)

場 所 : 講義会場・長良川スポーツプラザ大会議室 実技会場・新日本ガス球技メドウ

参 加 者 : 3 人

チューター: 牧野 健 ・ 西尾 真央 ・ 馬淵 圭太 ・ 井森 秀歩

【参加者の感想】

・子供たちの安全安心を守りながら、サッカーが楽しくなるようにこれから指導をしていきたいです。実技も何が子供たちに出来なくて足りないのか考えて指導をすることができて良かったです。最後のゲームも楽しくやれて良かったです！

高橋 幸羽さん(JFC 若鮎城西)

・常にオープンマインドの精神で相手と接することで、他者理解が進み信頼関係が構築できます。指導者と子どもたちだけでなく、親子関係でも言えると思います。今後の子育てや仕事にも生かして行きたいと思います。

椎名 麻里子さん

・サッカーの知識はほとんど無い私にとって不安も少しありましたが講師の先生方と一緒にさせていただいたみなさんのおかげで、楽しく学ぶことができました。印象的だったのは、技術的な面だけでなく、子どもとの接し方、声かけの工夫、子どもの自立や主体性を引き出すための指導法など、多くの学びがありました。講習会の中ではディスカッションの時間も多く取られて、インプットだけでなくアウトプットする場面もあり、みなさんの意見も知ることが出来有意義な時間でした。サッカーの楽しさに加え育成という観点の大切さにも触れることができ、良い経験になりました。忙しい毎日を送る息子もスポーツを通じて、技術だけでなく、指導者や仲間との関わりの中から多くの事を学んでいるのだと改めて感じました。より良い指導者が増え、年齢関係なくサッカーを心から楽しむ人が私も含めさらに増えて欲しいと思いました。これからも親子で成長していきたいです。

秋山 友香さん

【担当チューターより成果と課題】

皆さん、ご参加いただきありがとうございます。一方通行の講習会ではなく、参加者主体のディスカッションではたくさんの意見を出し合い、オープンマインドでお互いを尊重しながら話していたことが印象的でした。普段のサッカーの環境でも、安心安全に子どもたちが主体的に活動できるように導いていけるよう、今後もサッカー指導者として一緒に学んでいきましょう。

西尾 真央

【講義・実技の様子】



D ライセンスコーチ養成講習会 女性②コース 報告書

日 程：2026年1月10日（土）

場 所：講義会場・長良川スポーツプラザ大会議室 実技会場・新日本ガス球技メドウ

参 加 者：12人

チューター：西尾 真央・蒲 成人・井森 秀歩

【参加者の感想】

・「セーフゲーディング」について、初めて学ぶことができました。子ども達が安全に楽しくサッカーが出来るように環境を整える事は、私達大人の役割だと思います。楽しく出来るように、環境を整えたり、今日学んだことを活かして、自身の出来ることを増やして行けたらと思います。実技の面でも、実際自分でやってみると普段と同様に行かないことも多かったです。でも、チューターにたくさん声をかけていただけたおかげで、楽しく実技の時間を過ごすことができたと思います。本日は1日、ありがとうございました。
神野 奈津美さん(西郷FC)

・育てて勝つのか、勝って育てるのかという話し合いがとても心に残りました。子どもに対して上から目線にならず成長を喜びながら、一緒にサッカーを楽しんでいきたいと思いました。本日はありがとうございました。
中村 香織さん(加納西スポーツ少年団サッカー部)

・今、子どものいる少年団の練習にたまに混ぜてもらいながら少しアドバイスをする中で指導にも興味を持つようになり今回受講を決めました。指導者としての心構え、基本を学ばせていただき、サッカーだけでなく家庭内での我が子とのやり取りでもあてはまる講習で、大人として言葉の選択と言い方一つ一つを気をつけようと思いました。実技はとにかく楽しく蹴らせていただき、声かけや練習の意味を知ることができました。指導者にならない人(子どもを預ける側の保護者)も指導者側の思いやサッカーをする子どもの気持ちが必ずわかるので受講してもらいたいと思いました。私自身もプレーする側だけでしたが、この講習で指導にさらに興味が広がりフィジカルトレーニングやサッカーをもっと知りたくなり次のCライセンスも受講してみたいと思いました。今日1日楽しく学ばせて頂きありがとうございました。
有我 みゆきさん(加納西スポーツ少年団サッカー部)

・今まで保護者として1歩引いた所で子供の成長を見守っていましたが、「指導者」としての意識を持ち、自分の子供だけでなく選手を平等に見つめ声掛けをして行きたいです。自分一人が行うだけでなく周りを巻き込み、指導者を増やして少年団を盛り上げたいです。
佐竹 志帆さん(加納西スポーツ少年団サッカー部)

・練習ではコーチのさじ加減ひとつで練習の難易度が変わったり、声掛けでモチベーションが大きく変わったりすることがとても印象的でした。講義から実技までとても充実していて参加して本当によかったです。今後指導者としてサッカーに関わることも視野にいれていきたいです。
【U18】河村 はなさん(岐阜県立恵那高等学校)

【担当チューターより成果と課題】

皆さん、ご参加いただきありがとうございます。参加者主体のディスカッションではたくさんの意見を出し合い、オープンマインドでお互いを尊重しながら話していたことが印象的でした。普段のサッカーの環境でも、安心安全に子どもたちの目線になって寄り添っていけるよう、今後もサッカー指導者として一緒に学んでいきましょう。

西尾 真央

【講義・実技の様子】



2025 年度

D ライセンスコーチ養成講習会 中濃コース 報告書

日 程 : 2025 年 11 月 1 日(土)
場 所 : 講義会場: 錦津コミュニティーセンター 実技会場: 蘇水多目的グラウンド
参 加 者 : 26 人
チューター : 吉田 敬 ・ 野村 次郎

【参加者の感想】

●セーフゲーディングの講義を受講してチームとしての方針を保護者と共有し常にコミュニケーションを欠かさないと大切さを学びました。また、指導者として常にアップデートする意識を忘れずに選手と共に成長できる指導者になりたいです。選手達には『今日も楽しかった!』と言ってもらえる指導をするために選手が自ら考え達成感や充実感を与えられる練習メニューと雰囲気作りを意識して今後の練習に取り組みたいです。

成瀬翔太さん(瑞浪スパローズ)

●選手が安心してサッカーを学べる環境作りをするために指導者としての適切な言動はもちろんのこと、メディカルや発育発達などの知識を学ぶことが必要であると感じる講義でした。指導者としてオープンマインドに心掛け、選手や保護者と同じ目線で何でも言い合える関係を築き、相手へのリスペクトを忘れない指導者になりたいと感じました。

三輪秀幸さん

●セーフゲーディングの講義を学び、指導者として〈正しい人〉であることが改めて大切であると気付かされました。選手を成長させられる指導者になるために常に学び続けたいと感じました。また、保護者と選手が安心してサッカーに取り組める環境を作るために常にコミュニケーションを大切にしたいです。

小柴陽平さん(緑陽 JFC)

【担当チューターより成果と課題】

参加者の方の学ぶ意欲が高く、講義では積極的なディスカッションを行っていただきました。選手のために自分自身が成長したいという強い思いを感じる指導者の方々の姿に刺激をいただきました。「指導者は選手の未来に触れている」という言葉を皆さんと共有させていただきました。指導者として常に選手のために何ができるのか考え続けて岐阜県から日本を代表する選手を育成していきましょう。

吉田 敬

【講義・実技の様子】



D ライセンスコーチ養成講習会 飛騨コース 報告書

日 程 : 2025年11月8日(土)
場 所 : 講義会場: 飛騨市宮城公民館 実技会場: 杉崎公園グラウンド
参 加 者 : 9人
チューター : 松永 宗太 ・ 蒲 成人

【参加者の感想】

- 選手、子どもたちが自分で考えて判断することを促すのが大事なことだと学んだ。安心して伸び伸び楽しくプレーできる環境を作りたい。 4種 堀越健志さん
- 今回の講習会に参加して、改めてサッカーが楽しいと感じました。子どもたちがサッカーを楽しめるようにいろいろな工夫をしていきたいですし、楽しむためにも出来なかったことを出来るように、達成感を感じられて成長できるような指導ができたと思います。今後も知識をアップデートしつつ、子どもたちの指導にあたっていきます。 4種 居場保直さん
- 素晴らしい実技、講義をありがとうございました。子供たちがサッカーをやって良かった、やったからこそ得るものがあったと思える環境作りのための学びがとても多くありました。学んだことを糧に、選手たちとの関わり方、サッカー競技を普及していく事に尽力して行きたいと思えます。 4種 二村雄太さん
- 初心者でも丁寧に教えて頂き大変良かった。楽しくする雰囲気作りが凄く良かった。 4種 金井康晋さん

【担当チューターより成果と課題】

サッカー経験のない方も参加されたコースでしたが、参加者の皆さんはオープンマインドで講義も実技も明るい雰囲気の中で熱心に受講されました。実技では、様々なオーガナイズで獲得させたいことが変化することや、実技の見るべき視点を学ぶだけでなく、点を決めたら仲間とハイタッチをして喜びあう、ミスしたら励まし合う等、サッカーは楽しいという原点を感じ、笑顔あふれる時間となりました。セーフガーディングの講義では、活発なディスカッションの中で、相手や状況によって感じ方が変わること気づき、今後の指導に活かしていきたいとお話される方が多くみえました。飛騨地区はチーム数も少ないためなかなか参加者が集まらないことがありますが、多くの方に講習会に参加していただけるよう日頃から周知をしていきたいと思えます。今後も指導者仲間を増やしていくことで、飛騨地区・岐阜県のサッカー界の底上げを図っていききたいと思えます。

【講義・実技の様子】





G-ACTION 2030

2025 年度



D ライセンスコーチ養成講習会 東濃コース 報告書

日 程：2026年3月14日（土）
場 所：講義会場・とうしん学びの丘”エール”多目的室
実技会場・とうしん学びの丘”エール”芝生広場
参 加 者：31人
チューター：今井 隆治 ・ 西尾 真央 ・ 小畑 正樹

【参加者の感想】

- ・講習会ありがとうございました。選手への寄り添い、正しい知識を持って指導する大切さを学びました。自分も選手、子ども達と一緒に成長させてもらっているという事を忘れず指導していきます。岩松忠典さん(FCポルティス)
- ・プレイヤーファースト、オープンマインド、正しい事を伝えるという事の大切さを知った。子供に言うだけでなく自らも行動を律する事が重要というのは響いた。保護者として受けたが、楽しい講習会で子供と関わる事の楽しさも学べ、指導者になりたいと思えた。水口裕介さん(高山新宮SS)
- ・分かりやすく楽しい講義でした。子供との関わり方や技術の教え方などを具体的に学ぶことができた。今後に生かしたいと思います。大平和輝さん(FCオリベ多治見)
- ・大変になりました。指導者とはどうあるべきかが分かりよかったです。指導者は全員受けていたと思います。鈴木悠介さん(下有知FC)
- ・オープンマインドという言葉が今後も日々の生活からも意識したいと思いました。また考える力も養える様にオープンドクエスチョンを行っていきたいと思いました。ありがとうございました。肥田元弥さん(瑞浪スパローズ)
- ・技術面の指導において、「構成要素」で伝えるということを学びました。今までは、伝える中で言語化されてない所でしたので、学べて良かったです。加藤明さん(美濃SSS)

【担当チューターより成果と課題】

東濃コースのスローガンである「日本一楽しい講習会」を目指しながら、Dライセンス本来の目的である『指導に触れる』を意識して開催しました。セーフガーディングを学び、ディスカッションや実技を通して、プレイヤーファーストの考え方やオープンマインドで向き合う姿勢、正しい知識を持って伝えることの重要性を感じていただけたのではないかと思います。

指導とは一方的に教えるものではなく、選手と共に悩み、考え、成長していくものであること、問いかけを通して考える力を育てる大切さなど、多くの学びが生まれた講習会となりました。技術面においても、「構成要素」で分かりやすく伝える視点に触れ、日々の指導を見つめ直すきっかけになったのではないかと感じています。今回の経験が、日々の指導や選手・子どもたちとの関わりの中で活かされ、皆様の現場での小さな積み重ねが大きな成長へとつながっていくことを願っています。31名の受講者の皆様、そしてチューター仲間に心より感謝いたします。

今井 隆治

【講義・実技の様子】



報告日：2026年3月17日 作成者：今井 隆治

JFA 公認 D ライセンス 講習会 岐阜地区 U-18 コース 報告書

日 程 : 2026 年 3 月 4 日(水)

場 所 : 岐阜メモリアルセンター補助競技場・メモリアルセンター陸上競技場会議室

参加者 : 25 人 (岐阜県立加納高等学校サッカー部・岐阜県立岐阜高等学校サッカー部)

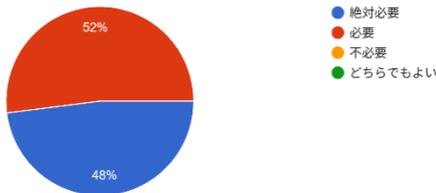
チューター: 馬淵 圭太 ・ 今井 隆治

【参加者の感想】

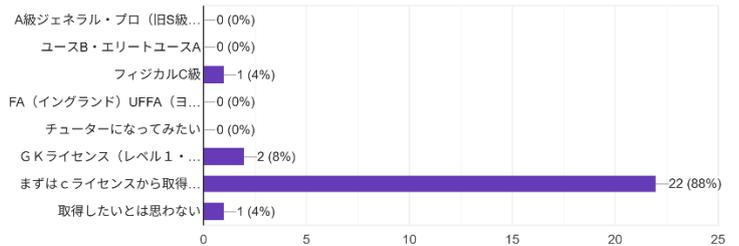
- 指定された形を書くゲームでは自分が思い描いた絵とみんなが描いた絵が違ったが、みんな考えている違うということがわかってよかった。 尾村 陽太さん
- 今回の講義を聞いていつもはプレーする側だけれど練習メニューを考えたり改善したりするのは大変だということが分かった。自分の思い通りにならないこともあったけど選手のことを考えてできて良かった。 飯島 凖翔さん
- サッカーは選手と指導者がいて成り立っているので、もっと顧問の先生に感謝を持ちたい。 板津 創太さん

【講習会後のアンケート】

指導者に資格は必要ですか?
25 件の回答



今後取得したいライセンス
25 件の回答



【担当者より】

様々なことにチャレンジした講習会であった。現役の高校生選手が、本講習会をどのようにとらえ日常にフィードバックしてくれるのか、が重要であることに視点を向け今井チューターと相談しながらコースを進めていきました。積極的なディスカッションへの参加、グループワークの構築をこなしながら、大変充実したコース運びを行うことができたと感じます。終了後のアンケートでは指導者に資格が必要、次は、Cライセンスに挑戦したいなど、意欲を感じる講習会となりました。高校生に資格を取得する機会を与えてくださった顧問の方々、保護者の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

岐阜 FA シニアチューター 馬淵 圭太

【講義の様子】





2025 年度



D ライセンスコーチ養成講習会

岐阜県立土岐商業高等学校コース 報告書

日 程 : 2025 年 8 月 25 日(月)

場 所 : 講義会場・岐阜県立土岐商業高等学校 実技会場・岐阜県立土岐商業高等学校

参 加 者 : 32 人

チューター : 今井 隆治 ・ 西尾 真央 ・ 松永 英機

【参加者の感想】

- ・講習会を通して今日の朝練でも試合を見る中でのプレーの一つ一つに着目して試合を振り返ることができていた。また、海外の試合や SPLYZA でとった試合の見方も変わってサッカーに対する考え方が指導者目線もあることに気づききっかけになった。子どもたちいかに安全に楽しくサッカーの時間をつくるか、非常に勉強になりました。何よりも自分ももっとサッカーと関わる時間を楽しまないといけないと思いました。佐々木 理将さん
- ・サッカーをどのように楽しむのかよく分析することができました。また、オープンマインドで自分の意見も大事だけど他の人の意見を尊重することも大事なんだなとよく分かりました。この講習会で自分たちのチームに足りないことをよく観察して、いいチームになれるようにしたいと思いました。深萱 飛友さん
- ・オープンマインドで他の人の意見をしっかりと聞くことと小学生などに伝えるのはとても難しいことを学ぶことができました。古田 龍二郎さん
- ・指導者から見た、サッカーに対する考え方や選手達に何を求めるのかをしっかりと考えてくださっていることが分かりました。そして指導者になるためには多くの知識が必要だということもわかり、大変だなと思いました。加藤 巧馬さん

【担当チューターより成果と課題】

チューターとして初めて担当した U-18 コースでした。参加者の皆さんにとって「楽しく・安心・安全にプレーできる環境をどう作るか」そして「指導者としての入り口にどう立ってもらえるか」が大きな課題でした。各講習・実技ともにディスカッションが活発に行われ、高校生の熱意と真面目さに心を打たれながら、無事に講習会を終えることができました。この場をお借りして、土岐商業高校サッカー部のスタッフ・選手の皆さん、D ライセンスコーチ養成講習会へのご参加ありがとうございました。

今井 隆治

D ライセンス講習会のディスカッション、ゲームを担当させていただきました。皆さんがオープンマインドで話し合いをしてくださったおかげで、どんどん学びが深まっていったように感じています。自分の意見を発信すること、相手の意見に耳を傾けることの大切さを実感していただきました。また、選手である皆さんが指導者目線で学習することができて、言語化することの難しさやコミュニケーションの大切さに改めて気づき、サッカーの楽しさや深さを再確認できる場であったと思います。

私自身も皆さんが学んでいる姿から新たな発見や気づきがあり勉強になりました。土岐商業高校サッカー部の先生方や保護者の方にもご理解ご協力いただき、ありがとうございました。

西尾 真央

【講義・実技の様子】



報告日 : 2025 年 8 月 28 日 作成者 : 牧野 健

D ライセンスコーチ養成講習会 岐阜第一高等学校コース 報告書

日 程 : 2025 年 8 月 31 日(日)

場 所 : 講義会場・岐阜市スポーツ交流センター 実技会場・SHOWA スポーツピアザ

参 加 者 : 27 人

チューター : 牧野 健 ・ 高田 樹宜 ・ 寺田 亮太 ・ 松永 英機

【参加者の感想】

- 相手にとってマイナスになる声かけではその相手がやる気を無くしてしまったり嫌な気持ちになるので、褒めたりドンマイなど相手にとってプラスになる声かけをしていくことが大事だということを指導者目線として考えることができた。他にも言葉遣いや、わかりやすいように工夫することが大切だということがわかりました。他人の意見もしっかり聞き入れてオープンマインドでやっていきたいと思えます。 樋笠 竜成さん
- 今までとは違い指導者の目線で、どのように選手に声をかけるかなどを学ぶことができた。強い口調でただ指導するのではなく、プラスになる言葉を用いて指導することも大切だということを学んだ。仲間に伝えるときは強い口調ではなくプラスになるような言葉をかけていきたいと思った。これからはオープンマインドで周りの意見を取り入れてさまざまな視点からサッカーを学んでいき上達につなげていきたい。 青山 翔哉さん
- サッカーを指導するうえで大切な基本的な考え方や練習方法を学ぶことができました。選手の年齢や発達段階に合わせた指導を行うことや、安全面への配慮、子どもたちがサッカーを楽しめる雰囲気づくりの重要性を知りました。実際に体を動かしながら指導の仕方を体験することで、自分自身の理解が深まりました。今回学んだことをこれからの活動にしっかり活かし、サッカーの楽しさを多くの人に伝えられるよう努力していきたいです。 向井 康介さん
- 指導者が大切にすることや、どうしたら楽しくサッカーができるのかを考えることができました。自分がサッカーを指導する際に意識したいことは、サッカーの楽しさを伝えられるようにすることです。トレーニングメニューを考えるだけでなく、選手がのびのびとサッカーができる環境をつくるのも指導者の役目の一つだと思いました。今は選手としてサッカーに関わっていますが、指導者になったときは選手よりも苦労することが多くあるのだと改めて感じました。所属しているチームの監督やコーチなどの大人に指導してもらえることに感謝しながらサッカーを頑張りたいとより一層強く思いました。 神山 悠悟さん

【担当チューターより成果と課題】

岐阜第一高校サッカー部の明るく楽しい雰囲気が伝わってきました。活発なディスカッションが行われ、キーワードである「オープンマインド」を常に心掛けてくれたかと思えます。サッカーが嫌いにならない・サッカーで嫌な思いをしない、安心安全で誰もが生き生きとプレーできる環境づくりを岐阜第一高校の選手にはお願いました。今回の学びや気づきを、今後の岐阜第一高校の皆さんにとって有意義なものになるようことを願っています。岐阜第一高校の選手・スタッフ・関係者の皆さん、今回の D ライセンスコーチ養成講習会に参加していただきありがとうございました。 牧野 健

チューターとして初めて U18 のコースを担当しました。セーフガーディングの担当をし、「サッカーを安全で安心のできる楽しい環境にしていくこと」を一緒に考えました。伝えることの難しさを感じたり、どんな指導をされた時に嬉しかったかなどを振り返ったりすることで良い指導者像をみんなで考えることができました。講義後の実技では、指導者の視点をもつことで、プレーヤの声かけ、アドバイスに変化があり、活発なゲームになっていきました。岐阜第一高校サッカー部の誠実さや真剣にサッカーを楽しむ姿が心に残っています。D ライセンスコーチ指導者養成講習会へのご参加ありがとうございました。 高田 樹宜

【講義・実技の様子】



優秀指導者招聘事業兼リフレッシュ研修会①

報告書

日 程 : 2025 年 7 月 19 日(土)
場 所 : 講義会場・OKB ふれあい会館 301 会議室 実技会場・SHOWA スポーツピアザ
参 加 者 : 講義 50 人 / 実技 47 人
チューター : 菅野 淳 氏

- ・ 2025 年 JFA フィジカルフィットネスプロジェクトリーダー
- ・ JFAU-20 日本代表フィジカルコーチ

【参加者の感想】

- ・ 様々な動作を加えるだけで身体への負荷も変わるし、楽しみながら身体作りをすることを体験出来ました。今後のチーム活動に活かしていきたいです。 **大橋 英雄さん(Football club Hashima rêve)**
- ・ ウォーミングアップはパターン化されているものという認識だったが実際はそうではないということを知れた。 **中村 友哉さん(加納西スポーツ少年団サッカー部)**
- ・ 現在も体幹トレーニング等を取り入れてますがもう少し遊びの要素を加えたほうが子ども達には楽しくできるのかと思い、今後取り組んでいこうと思います。 **原瀬 英将さん(FC 島)**
- ・ 今回のように、どのカテゴリーではこの方がいいとか、現場で使えることを具体的にやってもらいたい。(やってもらえてとてもよかった) **澤田 尚正さん(飛驒 AG FC Dream)**
- ・ フィジカルやトレーニングにおいて色んな知識があり、フィジカルが選手にとってプレーの幅を広げる結果になるほど大事なトレーニングの要素だと思いました！もっともっと知りたいので、ぜひ岐阜開催でフィジカル C 級やって欲しいです！いい研修会になりました！ありがとうございました！ **西松 浩崇さん(FC 東龍)**

【担当者より】

講義では、「身長や体重を測る」・「BMI を日常会話に」・「リハビリは最強のトレーニング」等、選手のフィジカルリテラシーや指導者のサイエンスリテラシーを高めるための知識を伝達いただきました。実技では指導現場で使え、子ども達と楽しみながらできる様々な動きを紹介いただきました。岐阜県からキツくてツライ指導者の経験によるフィジカルトレーニングを、楽しみながら自然と身につくものへかえていけたらと思います。

印象的だったことは、「トレーニングは子どもの発想ややりたいことを重視することも大切では」との問いかけです。子ども達が生き生きとサッカーに携われる環境を作ることができるようにしたいです。 **牧野 健**

【講義・実技の様子】



優秀指導者招聘事業兼リフレッシュ研修会②

報告書

日 程 : 2025 年 8 月 24 日(日)
場 所 : 講義会場・OKB ふれあい会館 14 階レセプションホール
実技会場・SHOWA スポーツピアザ
参 加 者 : 講義 43 人 / 実技 44 人 / 補助選手; 岐阜県立岐阜北高校サッカー部
チューター : 菅野 淳 氏
・ 2025 年 JFA フィジカルフィットネスプロジェクトリーダー
・ JFAU-20 日本代表フィジカルコーチ

【参加者の感想】

・私は u13-15 のフィジカルトレーニングの担当しております。その際、20~30 m²の狭さで 20 人程度を見ます。時間は 20~30 分程度です。狭いピッチで強度を上げるために、反復動作を行っており、楽しい要素が減ってしまっていたと研修会を通して感じました。楽しい要素を取り入れて、今後の練習に活かしていきたいと考えました。

吉村 飛高さん(fc エルブルーノ)

・選手が楽しくかつフィジカル的な要素、判断することも入っていて、力がつくなど自分が実践することでより感じました。週一回又は冒頭の 30 分で、取り入れたいと思うトレーニングばかりでした。本日は、ありがとうございました。

工藤 喜史さん(中津川フットボールクラブ)

・インターハイ出場校の BMI の数値の話はとても興味深いものだった。BMI の数値も含め、フィジカル的な部分を今まで以上に意識して、トレーニングを行ってみたいです。

鈴木 祐史さん(岐阜県知的障がい者選抜)

・指導者が BMI について、知っているだけでなく、選手にも自分の BMI を把握させ、自分の体を管理させることが大切だと感じました。

垣内 海斗さん(岐阜県国スポ少年女子)

・フィジカルとはいえ、通常のトレーニングに加味するだけで、楽しいものになることを学びました。スプリントトレーニングも考え方ひとつでずいぶん楽しくなりました。

川瀬 智宏さん(神戸サッカー少年団)

【担当者より】

今回の内容は 2 種の年代をメインに研修会を行っていただきました。講義では 2025 年度全国高校総体に出場した選手の身長・体重のデータから BMI の比較し、上位チームの身体的な特徴を提示していただきました。実技では遊びの中で自然と動きが身につくトレーニング、様々なステップワーク、ボールを使用しながら心肺機能を高める有酸素運動やスプリント能力を高めるトレーニングメニューを紹介していただきました。

フィジカルリテラシー・サイエンスリテラシーを岐阜県全体で高めていきたいと思っています。少しの工夫でフィジカル的な要素を含むトレーニングがより良いものになるヒントが得られました。菅野さんは前日までベトナム仕事を行い、帰国した日に岐阜県へ入っていただきました。最終回の次回は 11/29(土)を予定しています。皆さんの参加をお待ちしております。

牧野 健

紹介: JFAHP より 紹介: JFAHP より BMI と PHV について | 育成年代向け成長のモニタリング | フィジカルフィットネスプロジェクト | 指導者 | 日本サッカー協会 (https://www.jfa.jp/coach/physical_project/monitoring.html)

【講義・実技の様子】



優秀指導者招聘事業兼リフレッシュ研修会③

報告書

日 程 : 2025 年 11 月 29 日(土)

場 所 : 講義会場・長良川スポーツプラザ大会議室 / 実技会場・新日本ガス球技メドウ

参加者 : 85 人 (選手 35 名・指導者 30 名・保護者 25 名)

チューター: 菅野 淳 氏 JFA フィジカルフィットネスプロジェクトリーダー
U-20 日本代表フィジカルコーチ

【参加者の感想】

- サッカーにおけるフィジカルの重要性を改めて認識することができる良い機会となった。自分は中学校の頃からご飯を食べる量を増やして多く食べていたことが今日の BMI の数値を変えることにつながったと思う。現在栄養バランスや食事量をザバスのアプリを利用して考えている。今後も継続していきたい。
尾村 陽太さん(選手:岐阜高校)
- 本日は指導者と同じ高レベルな講義を拝聴させて頂き、感謝します。いち保護者としては、子供達に『諦めない』前向きな言葉かけを常に行おうと再確認できる場でした。家庭環境的にも体質的にも食べる事が苦手な我が子で、一度に沢山食べる事学校生活を送りながらの 1 日 5 食は厳しいですが、とにかく食べる量を増やす事に着目して、応援していこうと感じました。また、筋力トレーニングについても実例を含め分かりやすい講義でした。我が家には 2.3.4 種に属する選手がいますので、本日の内容はぜひ伝えていきたいと思いました。
住田 千佳さん(保護者:帝京大学可児高校)
- フィジカルを鍛える事は良いと漠然と思っていましたが、具体的に何故必要なのかがよく理解できました。また中学生において成長の個人差がありどうして良いかわからなかったが、個人差をそのまま受け入れて出来る事からやれば良いことも良く理解できました。
小椋 学さん(指導者:美濃ジュニアサッカークラブ)
- BMI や、ウォーミングアップの内容について前回ではわからなかったところを再度確認することができました。また、子供が進んで取り組もうとできる話(他者比較ではなく、自己比較)モチベーションアップに繋がる話し方などがとても勉強になりました。
山田 亜沙美さん(指導者:JUVEN FLOR)

【担当者より】

今回は選手・保護者と指導者が一緒に学ぶことを目的に実施しました。講義では、2026 年度国スポ少年男子の候補選手と保護者に向け、各選手・各家庭で取り組める内容や目標となるフィジカルの指標を、全国大会上位チームのフィジカルデータを用いて根拠とともに分かりやすく提示いただきました。実技では、各選手の 30m 走や立ち幅跳び等を計測し、現状を知ること日々のトレーニング目標と自身の成長を実感することの大切さをお話いただきました。客観的な指標と根拠となる正確なデータを用いることで、各選手の自律を促していたように感じます。「BMI の高いチームが全国の上位チームである」「1 日 6 食クマのように食べる」等、菅野さんらしい選手への伝え方が印象的でした。全 3 回の優秀指導者招聘事業が今回で終了しました。菅野さんは JFA フィジカル部門のトップを務め、世代別代表活動等で大変ご多忙の中、岐阜県のフィジカルリテラシーやサイエンスリテラシーを高めるため、岐阜県がさらに良くなるためにご講演いただきました。今年度の優秀指導者招聘事業をきっかけに、今後岐阜県の選手・保護者・指導者のフィジカルフィットネスへの意識が高まることを期待しています。菅野さん、ありがとうございました。

【講義・実技の様子】



東海 A・B リフレッシュ研修会

報告書

日 程 : 2026 年 2 月 28 日(土)

場 所 : 講義会場・じゅうろくプラザ小会議室 1

参加者 : 17 人 (岐阜県 6 名・三重県 7 名・愛知県 3 名)

内 容 : 「ゲーム分析」 ～A ライセンスのトピックと課題について～

チューター: 石井 知幸 氏 JFA・A ライセンスチューター/ジュビロ磐田

【参加者の感想】

- 大変わかりやすく、オープンな雰囲気良かったです。活発で貴重な意見が聞け、参考になりました。石井さんのファシリテートについて、パーソナリティーはもちろん、全員を尊重しながら、まとめられる巧みさが素晴らしい感じました。なかなか現場に出られていませんが、機会を見つけて指導に携わりたいと思います。ありがとうございました。江崎 徹さん(三重県)
- A ライセンスのトピック内容にも触れていただき大変ためになりました。色々な知識をもった方が集まると 30 分くらいのディスカッションが短く感じました。トピック 1 つ 1 つの発表に対し、石井チューターが意見を広げていただき大変ためになりました。小畑 正樹さん(岐阜県)
- 分析の目的や観点を整理できました。トピックについて参加者参加者の皆さんの意見を聴いて知見が広がりました。答えの無い議論をうまく整理していただき納得感がありました。今日の学びを子どもたちに還元したいと思います！辻田 直介さん(三重県)
- 分析の観点が整理されて良い学びになりました。様々な考え方や方法論を学べて有意義な時間になりました。どんな発言や発表に対しても、理路整然とわかりやすい回答をしていただき、お勉強させていただきました。優しい雰囲気での発言しやすかったです。今後もゲーム分析は継続して学びたいです。実際の分析とそこからどう対策し改善したとかの実践例を学ぶ機会を期待しています。堀 陽平さん(愛知県)

【担当者より】

東海地区のリフレッシュ研修会として A・B ライセンスリフレッシュを毎年行っているが、今年も趣旨を変えてみて、A ライセンスの内容に触れるといった形で石井 A ライセンスチューターにお越しいただきました。各 FA にて B ライセンス講習会が開催され、B ライセンス取得者が増えましたが、「その後の学びの提供、その先にある学びの姿をどう見てもらうか」が今回のテーマでした。研修会は試合の分析を「A ライセンス」のトピックごとに振り分けディスカッション⇒発表が行われました。参加された方よりのアセスメントでは大変有意義な時間な時間であったと多くの方に感じてもらえる研修会でした。岐阜 FA シニアチューター 馬淵圭太

【講義の様子】



47FA チューター研修会 報告書

日 程： 2025 年 1 月 24 日(土) ～ 1 月 25 日(日)
 場 所： 講義会場・岐阜メモリアルセンター陸上競技場会議室
 実技会場・岐阜メモリアルセンター補助競技場
 参 加 者： 22 人 (岐阜 FA/13 名 ・ 三重 FA/8 名 ・ 静岡 FA/1 名)
 アドバイザー： 大橋 昭好 (JFA コーチ) ・ 松永 英機 (岐阜 FA コーチ)
 【岐阜 FA チューター参加者】

	氏名	担当	所属(2026 年 1 月末現在)	チューター2025 年度参加講習会
①	牧野 健	C/D	加納西スポーツ少年団サッカー部	D 岐阜①/D 女性①/DU18/リフレッシュ/保護者
②	馬淵 圭太	B/C/D	岐阜西 SC サッカークラブ	B/C①/C②/D 岐阜①/GK-1/リフレッシュ/保護者
3	井森 秀歩	B/C/D	愛知学院大学	B/C②/D 岐阜②
4	今井 隆治	C/D	FC オリベ多治見	D 女性①/DU18
5	蒲 成人	C/D	TAKAYAMA CITY FC	D 飛騨/D 女性②/C②
6	松永 宗太	C/D	HIDA-UNITED. JY	D 飛騨
7	小畑 正樹	C/D	岐阜県立恵那高等学校	
8	名和 隆彰	C/D	各務原市立蘇原中学校	C①②/GK-1
9	吉田 敬	C/D	八百津町立八百津中学校	D 中濃
10	西尾 真央	C/D	名古屋グランパススクール	D 女性①②/DU18
11	高田 樹宜	C/D	サウス安井少年団	C②/D 岐阜②/DU18
12	寺田 亮太	B/C/D	FCKyoritsu/岐阜協立大学	B/C②/D 岐阜②/DU18
13	杉山 貴昭	C/D	岐阜県立大垣西高等学校	

●シニアチューター ○指導者養成部長



【参加チューターより】

●研修では、ライセンスの参加者が主体的に学び、成長していくために必要な環境という点について、深く考えさせられました。自分自身の（チューターとしての）長所、短所、今年の目標を明確となり、自分自身をもっと成長していく必要があると感じました。 小畑 正樹

●チューターに必要な能力や役割について、ワークやディスカッションを通して仲間と共に学び、整理できたことで、チューター活動にどのような基準で向き合うべきかが明確となり、自分自身の立ち位置や目指す方向性を具体的にイメージできるようになりました。また、チューターとしてのストロングポイントとウイークポイントを仲間からのフィードバックと自己分析の両面から整理することができ、これまで意識していなかった自分の特性や課題に向き合うための新たな気づきにつながりました。チューター実践者としてファシリテートを経験する中で、参加者に一方的に知識を伝えるのではなく、問いかけや対話、振り返りを通して参加者自身が気づき、考え、学びを深めていくことの難しさと同時に、その必要性や重要性を改めて実感しました。これらの学びを踏まえ、今後は自らのストロングポイントをさらに伸ばすとともに、ウイークポイントについては意図的にトライを重ねながら改善を図り、より良いチューターとして成長していきたいと考えています。 今井 隆治

●今回の研修を通して感じたことは、私たちチューターの存在が、各指導者のその先にいる選手たちに大きな影響を与えているということです。サッカーを心から楽しめる選手を増やしていくためには、ライセンス講習会に参加された指導者が「楽しかった」「また学びたい」と感じられる講習会を実施することが重要だと感じました。そのために私たちチューター自身が講習会を楽しみ、前向きに取り組む姿勢を示すことが不可欠であると考えます。常に指導者の先にいる選手の姿を想像し、チューターとしての活動を続けていきたいと思います。 杉山 貴昭



【「チューター」とは】

JFA では指導者養成講習会・リフレッシュ研修会の充実、公認指導者の皆さんの研鑽の場を創出するために、講習会・研修会での講師となる「チューター」の養成に取り組んでいます。チューターの資格は、JFA 主催のライセンス毎のチューター研修会に参加し、適格と認められた者に対して JFA が認定します。（日本サッカー協会 HP より）

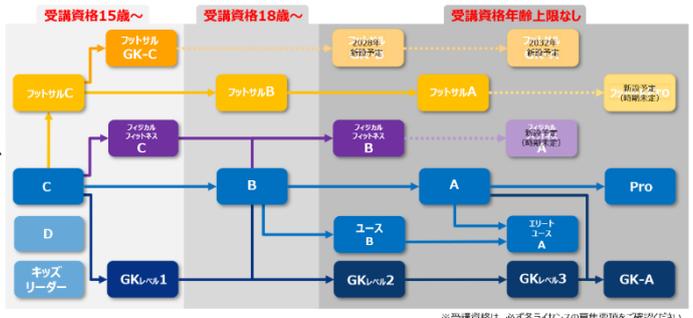
【「指導者養成講習会」とは】

JFA は、指導者のレベルアップのため、皆さまのニーズに合わせた指導者養成講習会を開催しています。JFA 主催の指導者養成講習会の修了者には、JFA 公認ライセンスが付与されます。

JFA の指導者ライセンス制度の中で、C ライセンスを「基礎Ⅰ」、B ライセンスを「基礎Ⅱ」としています。C ライセンスおよび B ライセンス講習会を通して、指導者としての基礎を学び、サッカー選手に必要な基本の指導にあたっていただこうと考えています。B ライセンス講習会までを受講した指導者は、

指導者としての基本を心得ており、あらゆる現場での指導にあたっていただけると考えています。そして、ある一定の基準を満たした指導者とも言えます。

そこからさらに学び続けたいという指導者は、A ジェネラルライセンス、エリートユース A（2024 年新設）、ユース B（2023 年新設）、GK、フィジカルフィットネス、フットサルといった、より専門的なライセンスに挑戦していただきたいと考えています。（日本サッカー協会 HP より）



※受講資格は、必ず各ライセンスの募集要項をご確認ください。